

いきいきフェスタTAKO2014

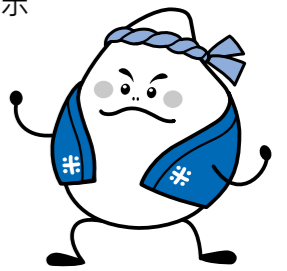
文化祭

10月31日(金)～
11月 2日(日)

■子どもたちや各サークルの作品展示
■芸能発表大会 ■音楽会

菊花展

11月 1日(土)～
11月 5日(水)



小中学校児童生徒音楽会

11月13日(木)

産業まつり・健康医療まつり

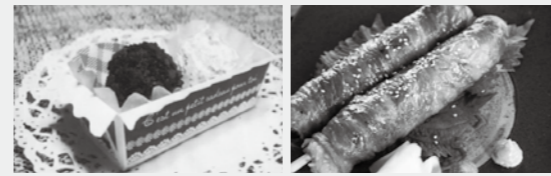
11月23日(日・祝)

『勤労感謝の日』※予備日24日(月・振替休日)

第2回 たこもん DE うまいもん！ コンテスト

多古町の農畜産物を使ったレシピを募集します。上位入賞者には豪華副賞を贈呈！さらに道の駅多古でのお披露目販売を予定しています。

※応募方法など詳しくは、多古町のホームページをご覧ください。<http://www.town.tako.chiba.jp/>



第3回 多古米グランプリ表彰式

食味計による予選審査を突破した食味値上位の多古米の中から、審査員の実食による決勝大会で多古米の1番が決定します。

みんな DE 巻きずし

フェスタといえばこれ！
23mのロング巻きずし作りに挑戦しよう！！

骨密度・健康チェック 愛の献血、歯科健診



会場●多古町コミュニティセンター

問合せ●いきいきフェスタTAKO2014実行委員会 ☎76-5404 (産業経済課内)

多古中央病院から

新しいがん検査

健康問題の中で、明るくない話題ではありますが、多くの人が興味を持っていてのがんについての話題です。さまざまな治療法が開発されていますが、今でも完全に克服された病気ではありません。

治療法が確実ではないがんについては、早期発見・早期治療が最良です。早期発見のために利用されているのが、肺がんを発見するための胸のレントゲン写真、胃がんを発見するための胃のバリウム検査、大腸がんを発見するための便の中の血液検査です。

がんは今述べたものだけではありません。乳がんや子宮がん、すい臓がん、肝臓がんなど全身のどこでも発生します。これを一つ一つ調べていくと身体的にも金銭的にも大変な負担になります。当院では大腸内視鏡検査の代わりに、CTを使った大腸検査が増えってきました。大きな病院ではPET検査のような全身を一気に撮影する検査もありますが、臓器によってはがんを発見しづらいこともあります。

そこで、近年、検査を受ける負担は軽く、しかも精度が高い発見方法の研究が進められ、さまざまな検査が利用できるようになりました。血液中のアミノ酸の成分を調べるアミノ酸インテックス検査は胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん、卵巣がんがある程度



文/国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

の精度で一度に検査することができ、当院でも検査可能です。一部の医療機関では血液検査でさらに幅広いがんを調べることができ、マイクロRNA測定検査も実験中であり将来有望な検査と言えます。当院も新しく負担の少ない検査に積極的に取り組むよう心がけています。

先進医療として新しいがん治療が導入されましたが、費用や体へのダメージのことを考えると、がんを早期発見してすぐに治療に取りかかることがベストだと思います。

がんに対しては、今のところ定期検診に勝る対策はないね。



【病院便り】多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっております。急患に限り時間外も受け付けていますが、設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際にはお薬手帳など、投薬内容が確認できるものを持参してください。

37年目



『功名が辻』文庫版全4巻
編：司馬遼太郎
発行：文藝春秋

〈あらすじ〉
ほろほろ伊右衛門と呼ばれるうだつの上らない武士に、賢くて美しい嫁が来た。戦国時代、夫婦が手を取りあって、ついには土佐一國の大名の地位を得た山内一豊の痛快物語。

今回紹介した本は、プラザ図書室に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■コミュニティプラザ図書室
☎79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
【休館日】毎週月曜日・祝日



私の一冊

『功名が辻』

新聞に掲載されていた物語が面白く、連載が終わるまで読み続けていたのがこの『功名が辻』でした。

ときは戦国時代、織田信長が栄華を極めていたころ、織田の家中に粗末な身なりをした若者・山内伊右衛門一豊がおり、そこに千代という賢くて美しい娘が嫁いできました。嫁入りのとき、夫の一大事のときに使いなさいと伯父がこっそり持たせてくれた金10枚を、城下で開かれた馬市で誰も手が出なかつた奥州産の駿馬を買います。このことで織田の評価が上がると信長に認められ、出世の足掛かりとなりました。堅い話だと思われがちですが、名を上げて一國一城の主となることを目指す一豊を、実は上手に干



本植人：市岡修治さん(二本松)

代が誘導しているという作者の解釈で面白く書かれています。学生時代まで全くと言っていいほど本を読むことはありませんでしたが、友人がすすめてくれた本がきっかけで面白さを知り、今は時間があると読みふけています。戦国のような時代物は、下克上もあり展開ががらりと変わっていくので飽きさせません。どんな話でも読者を引き込むような展開やテンポが良いもの、また読みながら情景が思い浮かべられるものは話しが分かりやすくページを進めていく楽しさがあります。これからも続きが読みたくなるような本を探して読んでいきたいと思えます。

俳句

黄泉からもまあるく見てる揚花火
南中 木内 慶子

仏前に主顔なる大西瓜
水戸 鈴木やすし

新涼の妻髪形を変へてをり
田町 渡部 健

秋涼し画鋏ばかりの掲示板
次浦 高橋 耕造

もやもやを愚痴と西瓜の種と吐く
喜多 瓜生 恒子

額の母終戦日には語りだす
高根 平山富士子

湯上りの子や新涼の臍ひとつ
仲町 香取 省吾

わが巡り見渡す限りの青き稲田管ほとばしる水は光の束
高野前 鈴木沙和子

手塩にかけ咲かせし真赤なアマリリス傍らに置きドラマ観てをり
南並木 飯田ふみ子

子が登り猫も登りし枇杷の木の朽ちて傾き我も老いたり
大門 藤井 たか

母の日に二円切手も贈られて詠草の葉書に丁寧貼る
本町 浅野 婦久

輝きし花の命の散るごとく師は旅立ちて名をぞ残せり
林 高橋 宏子

朱鷺色の鳥のごとも夕やけの空にとどまる一塊の雲
間倉 伊橋かほる

花好きの父の命日の花を剪る菊百合ダリヤ両手に溢る
南玉造 秋山 絢子

文芸コーナー